

ふれあい

発行年月

令和6年11月

発行者

Secca 島根県グラウンド・ゴルフ協会

〒699-0825 出雲市神西新町49 中尾 允 方

TEL・FAX (0853) 43-8833

E-mail info@shimane-gga.com

ホームページ <http://www.shimane-gga.com/>

印刷

(株)報光社 TEL (0853) 63-3939

島根県協会創立35周年記念交歓大会開催

広報事業委員長 松村 基樹

島根県協会創立35周年記念交歓大会が6月25日(火)に出雲ドームにて開催されました。この大会には隠岐を含め本協会会員770名が参加しました。

平成2年に島根県協会が設立され、令和6年に35周年を迎え記念交歓大会を開催。本協会は倉井会長が就任されて以来、藤間氏そして城山氏へとバトンが引き継がれ今日に至っています。1985年文部省が体育指導員の研修会を開催、健康増進メタボ改善を目指しスタート、島根県でも健康増進の運動事業として県協会を設立、旧町村には支部協会が設立され各協会、役員・会員の皆様方のご尽力により、2023年には大会参加者も800人を超える団体に成長しました。大会会場も雨風の心配のない県内会員が集まりやすい会場として出雲ドームを拠点に大会を運営・開催しています。会員拡大とグラウンド・ゴルフ協会ルールとマナーの徹底を目指し普及指導員育成研修会、指導員向けの研修会を毎年開催して会員の皆様の親睦、交流、健康増進と楽しい大会運営を目指しています。

島根県協会の会員数は2013年をピークに会員数4,755人から減少傾向が続いています、高齢者化が進み若い世代の会員加入が必要と思います、設立40年、50年を目指し会員の健康増進に、楽しいグラウンド・ゴルフをやりましょう。



顧問

理事

春日 森 藤 水 三 長 澄 村 萩 西 小 石 大 山 榎 門 松 山 田 坂 山 宮 稲 小 田 飯 太 中 築 和 門 城 倉
日 山 間 野 島 田 川 岡 原 尾 田 原 坂 根 廻 田 松 辺 橋 田 尾 森 田 脇 山 井
茂 益 元 静 武 安 裕 育 子 弘 治 淳 潔 宇 豊 子 基 樹 稔 恵 子 喜 美 洋 治 茂 勉 敏 次 良 治 寿 美 和 夫 允 寛 喜 勝 代 要 治 勝 吉 毅

事務局
事務局長

副会長
会長

令和6年度・7年度
島根県協会役員名簿

日本協会創立 40 周年記念誌発刊

公益社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会は、2023年（令和5年）に創立40周年を迎え、創立40周年記念誌を発刊しました。都道府県協会に「当面する課題」と「特徴的な事業や活動」をテーマとする原稿依頼がありました。島根県協会の原稿（年表・写真・グラフを除く、文責：中尾允）を再掲します。

当面する課題

本協会の会員登録数は、国内で新型コロナウイルス感染症が初めて確認された2020年以降に大きく減少した。2023年度の登録会員数は3,272名であるが、その年齢構成は、70歳以上が93.7%を占めており、登録会員の高齢化が進んでいる。会員の確保、特に60歳代会員の確保は、本協会の継続的・安定的な運営・活動のためには、喫緊の重要課題である。

特徴的な事業や活動

本協会は、会員の確保と会員であることのメリットを実感してもらうため、ブロック会員大会とホールインワンカード事業を行っている。

(1) ブロック会員大会

本県は、東西に長く、離島部もあることから、本協会の管轄管内を8ブロックに分割している。本協会の主催・主管大会は、登録会員の地域分布も考慮し、関係施設が集積している県東部の出雲市で開催している。そのため、出雲市で開催する大会に参加が難しいブロックの会員の便宜を図るため、各ブロックにおいて会員大会を開催し（各ブロック年2回開催まで）、大会参加人数に応じて助成金を交付している（100名未満：1万円、101名～200名：2万円、201名以上：3万円）。ブロック会員大会は、遠隔地および交通手段に苦慮している会員に好評で、参加者が多い。

(2) ホールインワンカード事業

登録会員の確保と主催・主管大会の参加者を増やすため、屋内会場および屋外会場の大会において、ホールインワンを10回・20回・30回達成した会員にはそれぞれ達成証と記念楯を贈呈している。大会の閉会式終了後、大会役員がスコアカードと照合し、ホールインワン1回ごとにホールインワンカードに確認印1個を押印している。本事業要項で定めたホールインワン数を達成した会員は、所属する登録団体に申告し、登録団体はカードの写しとホールインワン達成申請書を県協会に送付することとしている。本事業は2019年度から実施しているが、2023年末までに延48人が達成している。

グラウンド・ゴルフを継続して
県知事からの贈り物【生涯現役証】を受け取ろう!!

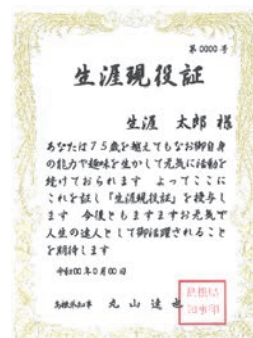
八雲町協会 水野 静二

島根県は75歳以上の方で、ボランティア、地域活動、スポーツ、レクリエーション活動、文化活動、などを元気で継続されている方を対象に推薦者を介して申請すれば「生涯現役証」としてこれまでの取り組みに敬意を表して県知事名で（賞状）に併せ（携帯カード）を進呈し恩典を受けることが出来る制度を推進しています。

八雲町協会は県高齢者福祉課から団体推薦者としての許可を得て該当する会員を推薦し申請しています。現状は以下の通りです

- 協会会員数：163名 ● 75歳以上の会員数：103名
- 推薦基準 1. 協会主催の大会に年間3回以上参加している会員
2. 年10ヶ月で週2回実施する合同練習に10回以上参加している会員
- 「生涯現役証」をすでに受領済会員：61名（今後75歳に到達し条件を満たした会員は追加申請する）
- 目 的：「GGを継続～習慣へ」を合言葉に会員の参加意欲を促し、体力維持と交流を促進しながら健康寿命延伸の一助とする事を目的とする。
- 特 典：協賛店、協賛施設、公共施設等で携帯カードを提示すれば（料金割引）（ポイント付与）（粗品進呈）（ドリンクサービス）等の恩典を受ける事が出来る

この活動を大会開催時や通達文によって幅広く周知をし、さらには会員加入促進にまで繋がるよう協会として努力して行きたいと思います。



私がグラウンド・ゴルフ (以下、GG) を始めて 20 数年になります。GG を始めた頃は未だ市役所に在職中でしたが、退職後に島根県市町村職員年金者連盟の GG 大会が始まりました。人のすることは何でもしてみたい好奇心旺盛な私は、早速、主人が誘った仲間と共に退職者連盟の大会に参加し、最初の 1、2 年は江津市職員退職団体が優勝しました。

その間に私は、出雲ドームでの大会でダイヤモンド賞を受賞しました。その当時は未だ日本協会に入会していなかったので、大会主催者の賞でした。この受賞が励みとなり、益々 GG に熱が入りました。退職者連盟大会がなくなつてからは、年金者会を立ち上げ、会員を集めて大会を月 1 回実施し、現在も継続しています。退職後は主人と二人でいろいろな大会に参加したり、近場の GG 場にでかけてプレーを楽しみ、時には広島県の方まで足を伸ばしました。香木の森コースが開設したとき、そこでダイヤモンド賞が出ましたが、施設の人がその手続きが初めてとのことで、四苦八苦され 2・3 か月かかったように思います。

日本協会に入会してからは、全国レディス大会に誘われ、主人と二人で行きました。主人は大会に参加出来ないため、写真を撮ったり、いろいろ世話をしてくれました。主人と二人で旅行がてらに大会に参加することは楽しみでした。

そんな主人が亡くなり、一人ではどこにも行けませんが、嬉しいことに誘って連れて行ってくださる人があり、県協会主催の大会をはじめ出雲ドームにも年に何回も行くことが出来ます。歳も取り、上手く出来ないことが多くなり、成績も芳しくなくても、素晴らしい GG を通して多くの人との出会いを大切に今後とも元気に GG を楽しみたいと思っております。



歴史を胸に！ ～グラウンド・ゴルフの普及を目指して～

加茂町協会 熱田 晴俊

スポーツには、「するスポーツ」「観るスポーツ」「支えるスポーツ」がありますが、この夏、甲子園での大社高等学校の活躍ぶりは、まさしくスポーツの持つ力を全国の皆さんに実感させたことでしょう。スポーツは、喜びや感動、悔しさ、そして夢を持たせてくれる素晴らしい文化だと思います。こうしたスポーツ文化は、スポーツをする皆さんの目的、目標によって異なると思いますが、私は、生涯スポーツとしてグラウンド・ゴルフ (GG) を日常的に行っています。

私は、クラブを握ってから 13 年が経ちました。健康体力づくり、仲間づくりで、生き活きた生活が出来ることは、この上ない喜びです。また、今年から加茂町協会の事務局を務めています。島根県の GG の草分け的な存在である私どもの協会を堅持し、よりよい活動が出来るよう責務を全うしたいと思っています。

加茂町協会は、現在会員数が 140 名余りで、年間に春季・秋季大会をはじめ、各種大会を開催しています。中でも山陰合同銀行杯は、1988 年 (昭和 63 年) に第 1 回の大会を実施してから 38 回の輝かしい歴史を誇っています。第 1 回の山陰合同銀行杯は、県内初の大がかりな大会にもかかわらず、統一的なルールもなく、手探りで、加茂中央公園野球場で朝から夕方までの開催であったと聞いております。

このように、加茂町協会の歴史は長く、1990 年 (平成 2 年) に倉井毅 (当時県議会議員) 様を会長に、島根県協会が設立されましたが、加茂町協会が事務局を担当し、県協会の設立に貢献した歴史があります。こうした歴史の中で、加茂町を会場に、第 1 回の島根県ふれあい大会が盛大に開催され、GG の愛好者が年々増加し、今日、子どもから高齢者の皆さんにスポーツ文化として取り組まれていることを嬉しく思っています。

加茂町協会の発展にご尽力された先人の皆様に感謝と敬意を表するとともに、これまでの貴重な歩みをしっかりと受け止め、確実に一步一步、歩を進め、微力ながら GG の普及発展に努力したいと思っております。



私の住む松江市八束町は「大根島です。」と言えば「ああ、ぼたんの島」と判って頂けます。そんな大根島に大塚山という小さな山があります。何でも、べた踏み坂で有名な江島大橋よりも2メートルも低いそうです。私達八束町 GG 協会はそんな大塚山のてっぺんの公園を、松江市の認可を受けて芝生の管理をして常設ではないけどホームグラウンドにしています。

その大塚山の麓に、大根島の小中一貫校、八束学園があります。その授業に地域とのふれあいクラブ活動があり、八束町協会は18年に亘り講師として参加をしてきました。私は5年前から参加していますが、その授業の形態は、クラブの生徒代表が司会進行をして先生はアドバイスをするだけなので、このようにして生徒の自主性を育むのだと理解をしても、気をつけ！礼！で育てられた私には違和感の有るものでした。グラウンド・ゴルフの練習が始まると一人一人が自由に動いていて、同じ体操服を着た同ような体格の生徒は区別がつかず名前を間違えて叱られたり、すねられたり。その上生徒達の名前はかっこ良いけど難読漢字ばかりでとても覚えられないのです。練習では、ミスショットも多いけど、芯に当たると優に50m近く飛んでいきます。「ナイスショット」と言えば嬉しそうに走って行きます。そんな最初はとりとめの無い生徒達も、練習の回を重ねる内にホールインワンを出す子もいたりして上達してきます。

年間5回の練習が終わり、仕上げは八束町協会の会員との「世代間交流大会」に臨みます。もちろん表彰は生徒達だけで行い、会員は別途ですが、初めはあんなにまとまりの無かった生徒達がちゃんとプレーをするのには毎年関心をしています。グラウンド・ゴルフは本当に良く考えた10代でも70代以上でも楽しく一緒にプレーが出来る素晴らしいスポーツだと思います。最後には、生徒一人一人がお礼の言葉を書いてプレゼントしてくれます。18年前に八束町協会とプレーをした生徒達は今頃どんな暮らしをしているのかなあと、思いを馳せたりして、このような楽しみを享受出来るのもグラウンド・ゴルフのおかげと感謝しています。



雑 感

吉賀町協会 村上 勝史

吉賀町には現在、日本協会の認定コースが2カ所あります。1カ所は蔵木GG場（旧六日市町）もう1カ所は大野原 GG 場（旧柿木村）で、いずれも8ホールを二面備えております。

私は大野原 GG 場の管理棟へ勤めております。この GG 場は、清流高津川（本年も水質日本一となっております）の側にあり、大変景観のいい場所に位置しております。このコースは、「川コース」と「山コース」があり、特に「山コース」は起伏があり、認定コースとしては珍しいコースです。現在、この GG 場の利用者は、一ヶ月平均700人程度、一日30人程度の利用があります。利用者には95歳のご夫婦がおられ、毎日のように来られます。

現在、当 GG 場主催の大会が、月何回か実施されておりますが、その中に「とびのこ大会」（「とびのこ」は旧柿木村の中心地にある山の名前）というのがあります（年九回、4月～12月に開催）、今年の12月に第五十回をむかえます。毎回、百名程度の参加者がおられます。参加者の内訳は、吉賀町内三割、益田市・津和野町内で四割、残り三割を山口市・岩国市・周南市・萩市の山口県から来られます。

吉賀町は島根県最西端にあり、山口市・広島市に近いという環境にあります。島根県協会主催の大会が出雲市で開催されることが多いので、遠方のためなかなか県協会大会に参加出来ない状況にあります。また、コロナ前には六日市温泉「ゆらら」に団体客が広島市からお越しになられていましたが、コロナで途絶え、ここ数ヶ月前から復活の兆しが見えております。

これは全国的なものでしょうが、数年前から当協会に入る方が減っております。ほかの協会の皆様も苦慮されていることとお察しいたします。GG 愛好者自体、若い人の入会が少なく、何か良い手立てはないでしょうか。高齢になると楽しむスポーツも限られ、そのなかで GG は適当に体を動かし、人との会話を楽しみ、時には大会を楽しむ高齢者にとっては、これほど適したスポーツはないかと思います。先日の大会でクラブと杖の両方を持ってコースを回る人がいましたが、成績は上位の方でした。今後も体の動く限り GG を楽しみ人生を謳歌してゆきたいと思います。

まず、私のグラウンド・ゴルフに関する立ち位置を紹介します。平田地域（旧平田市）には、11 地区を以て構成する「平田グラウンド・ゴルフ連盟」があります。その中の1 地区である平田には、9クラブ（約 80 名の会員）による組織で「平田地区グラウンド・ゴルフ協会」があり、私は9クラブの中の「超我の族クラブ」の1会員です。日本および島根県のグラウンド・ゴルフ協会へは、「平田グラウンド・ゴルフ連盟」として登録しています。

「超我の族クラブ」では、老若男女を問わず沢山の人との出会い。そしておしゃべりが出来ることを願い、明るく楽しく愉快に過ごすこと。忙しい、忘れた、人の為、は禁句とする。勝ち負けに拘らず、我（自分自身）を超えることに集中すること。等を目的にしています。招待を受けて参加した他地区で、胸に掲げた名札を見て「何処から来たの」「何クラブと言うの」「どんな謂れがあるの」等々よく聞かれます。地元の平田でも言われています。そのような「超我の族クラブ」は、令和元年5月の結成で、未だ6年生です。

クラブ名の由来ですが、ある寺院の管長の一筆「超我」を引用させて頂きました。日頃の自分の甘い考え・自己中心的な行い等を反省し、身近な所に「超我＝自分を超える」の言葉を残し、多くの皆さんから「超我」「超我」と親しく声をかけていただきたく、同じ思いの族（仲間）が集まり「超我の族クラブ」を結成しました。お陰様で「族＝一族＝仲間」も12名で、月に1～2度近隣の会場へ遠征し、グラウンド・ゴルフを生きがいとして楽しんでいます。これからもよろしくお願いいたします。



GG での出会い、ふれあいを大切に

斐川町協会 足立 修

定年退職後に何をしたらいいのか思うことがありまして、まず健康維持を考えて GG をすることにして、継続して家庭菜園、私の好きな猫、水槽でのタナゴ飼育、そして地元の荘原 GG 協会に入会して 10 年を迎えることになりました。その後、各地域の GG 場に出掛けて参戦するようになり、その間に地元の GG 仲間のお世話をしたり、大会運営の手伝いといろいろな人達との出会いとふれあいを感じて一緒にプレーすることの楽しさ、素晴らしさを感じました。

ところで今春の安部栄四郎記念館杯 GG 大会の出来事で、元職場の同僚と私が昔、行きつけ飲み屋のママさんに出会うことができ嬉しく思いました。これからは、体に気を付けて永く GG を頑張りたいと思います。



グラウンド・ゴルフルール Q & A

前普及指導員育成委員長 水野 静二

グラウンド・ゴルフは、審判員がいない為自分自身を審判する公平性や公正さが強く求められる事を大きな特徴としています。エチケット、マナーを認識し、ルールを正しく理解してグラウンド・ゴルフを愛好する者としての良識をもって、仲間と協力し合いプレーを楽しんでいただきたいと思います。

第28回島根県2級3級普及指導員研修交歓大会の質疑応答の要旨を纏めましたので参考にして下さい。

Q1 多人数でプレー中歩いている人にボールが当たった事が2～3回ありました、幸い当たったところが靴だったので大きな問題にはならなかったですが常に心配です。今まで大きな事故はなかったでしょうか。

A1 打ったボールが他のプレーヤーの足に当たったり、スイングした時クラブが他のプレーヤーをかすめたりする事に時たま遭遇します。幸い今現在大きな事故の報告は有りませんが次の事を十分に心がけ危険を回避するよう気を付けながらプレーをして下さい。ルールブック第1章・エチケット編第2条にこの事に該当する項目があります。「同伴プレーヤーが打つときには、話をしたり、ボールやホールポストの近くや後ろに立たない 又自分たちの前を行く組が終了するまでボールを打たない」何よりもこのような事態を防止する為に心がけたい事は、打順を待っている人も、打ってマークを終えた人も、打つ体制に入っているプレーヤーをしっかり注視するという事が一番有効な防止策に繋がると思います。

Q2 クラブの「厚み面」で打ちたい方がいて、ルールブックに「・・・やむを得ない場合にはクラブのどの部分でも打つ事が出来る」と明記されているので2～3m離れたところから「厚み面」で打ってもいい、と言われることが有ります。第9条「ボールの打ち方」についてのQ & Aの解説からするとこのような位置から「厚み面」で打つ事はダメだと思いますが、いかがでしょうか。

A2 以前のルール解説では「ホールポストの近く、あるいは狭い場所などやむを得ない場合に限ってヘッドのどの部分でも打つ事が出来る」との説明でしたが「やむを得ない場合」を削除して具体的にわかりやすく解説が変更されました。どちらにしてもご質問の場合は不可と成ります。2021ルールブック第9条「ボールの打ち方」Q & A 解説⑯に次のようになっております。「ホールポストの近く、おおむねクラブヘッドの長さ位に近づいた場合」と「打面」で打ちづらい狭い場所などの場合はヘッドのどの部分でも打つ事が出来ます」「厚み面」で強打する場合はボールの芯を捕らえる事が難しく、ボールが思わぬ方向に飛んだり空中に上がったたりする可能性があり、プレーの安全確保の観点からこのような条件下のみ可能と成るように定めています。

Q3 ゴルフではクラブに「ウエートバランスシート」などを貼って調整する事を許可されている、GGのルールブックの資料編の一部に「底面（ソール）を金属や樹脂等で補強することは差し支えない」と記載されている。GGでもその種の物を貼ってもいいとの解釈も出来ますがいかがでしょうか。

A3 ルールブック第5条「用具」の項に「『日本協会用具標準規則』で定められた用具を使用しなければならない」と明記されています。用具メーカーが補強を目的として金属や樹脂を使用し製造した用具を日本協会が「用具標準規則」に準じ「認定用具」として承認したものが発売されています。したがってその上に何かを貼ったり、付けたりすることは第5条「用具の改造」に抵触しますので認められません、但し目印、イニシャル等は用具の機能を変えるものでなければ可とします。

ホールインワンカード達成者

令和5年12月17日～令和6年10月16日

NO.	団体名	氏 名	達成数	達成日
46	松江市協会	吉野 一雄	屋内 10個	令和5年7月5日
47	八雲町協会	白鹿 孝	屋外 10個	令和5年11月22日
48	斐川町協会	竹内 克美	屋外 10個	令和5年11月22日
49	大田市協会	岡田 洋治	屋外 20個	令和6年3月22日
50	大田市協会	小田ヨシエ	屋外 10個	令和6年3月22日
51	大田市協会	中島 敏晴	屋外 10個	令和6年3月22日
52	出雲支部協会	安食 勝美	屋外 10個	令和6年4月11日
53	大東協会	永井 昭光	屋外 10個	令和6年5月28日
54	松江市協会	吉野 一雄	屋外 10個	令和6年5月28日
55	大田市協会	知野見ふみ子	屋外 10個	令和6年5月28日
56	斐川町協会	多々納 進	屋外 10個	令和6年5月28日
57	三刀屋町協会	藤原 暁子	屋外 10個	令和6年6月4日
58	東出雲町協会	板持美智子	屋外 10個	令和6年6月14日
59	出雲支部協会	大矢ミチエ	屋内 10個	令和6年6月25日
60	大田市協会	大野みどり	屋内 10個	令和6年6月14日
61	大社町協会	植村清治郎	屋内 10個	令和6年6月14日
62	大東協会	落合 直子	屋内 10個	令和6年6月25日
63	玉湯体協GG部	森脇レイ子	屋外 20個	令和6年7月1日
64	八雲町協会	白鹿 政子	屋内 10個	令和6年6月25日
65	八雲町協会	森本 広	屋内 10個	令和6年7月5日
66	大社町協会	飯塚 辰子	屋外 10個	令和6年9月27日
67	松江市協会	山根 信男	屋外 20個	令和6年9月27日
68	八雲町協会	大川 憲	屋外 20個	令和6年10月16日
69	八雲町協会	森本 広	屋外 10個	令和6年10月16日
70	八雲町協会	白鹿 孝	屋外 10個	令和6年10月16日
71	大田市協会	大野みどり	屋外 10個	令和6年10月16日
72	大田市協会	吉田 隆	屋外 10個	令和6年10月16日
73	大田市協会	小田 弘治	屋外 10個	令和6年10月16日

2023年度ホールインワン基金一覧表

単位：円

NO.	団体名	基金額	NO.	団体名	基金額
1	島根県協会	205,293	19	加茂町協会	7,100
2	安来協会	5,500	20	木次協会	8,000
4	松江市協会	47,900	21	三刀屋町協会	2,500
5	美保関町協会	29,800	22	大東協会	10,900
6	東出雲町協会	14,500	23	大田市協会	36,200
7	八雲町協会	41,400	24	仁摩町協会	6,200
8	八束町協会	15,600	25	邑智協会	5,400
9	鹿島町協会	37,900	26	江津市協会	44,100
10	宍道町協会	50,000	27	桜江町協会	8,700
11	出雲支部協会	115,830	28	金城町協会	7,000
12	出雲支部協会今市	21,700	29	益田市協会	28,600
13	出雲支部協会神西	11,800	30	益田市協会ひまりパークみと	99,900
14	出雲支部協会長浜	24,470	31	益田市協会万葉公園	79,000
15	出雲市協会	32,520	32	津ノ野町連盟	32,400
16	平田連盟	13,300	33	西ノ島町協会	3,000
17	斐川町協会	36,400	34	海士町協会	8,800
18	大社町協会	15,600	合 計		1,107,313

全国大会入賞記録

大会名	開催日	開催地	入賞者
第22回全国交歓大会	H21/9/4～6	埼玉県熊谷市	Fグループ5位：原田祐次（平田）
第27回全国交歓大会	H26/9/6～7	大阪府堺市	団体：2位 Dグループ5位：市場 勇（加茂）
第30回全国交歓大会	H29/9/2～3	島根県出雲市	Aグループ5位：大野弘幸（出雲） Aグループ6位：永原賀計（玉湯） Bグループ3位：田原峰雄（益田） Bグループ5位：水野静二（八雲） Bグループ6位：窪田良造（大田） Eグループ1位：永井弘志（江津） Eグループ5位：森 紘一（大田） Fグループ5位：松近 誠（松江）
第31回全国交歓大会	H30/10/17～18	山梨県鳴沢村	Dグループ6位：田中 弘（大田）
第32回全国交歓大会	R1/10/9～10	福岡県久留米市	Dグループ3位：和田豊治（湖陵） Eグループ2位：山本 稔（湖陵）
第35回全国交歓大会	R4/10/5～6	群馬県高崎市	Aグループ5位：熱田晴俊（加茂） Dグループ6位：渋谷次夫（大田）
第36回全国交歓大会	R5/11/8～9	兵庫県淡路市	Bグループ5位：門脇要治（出雲）
第9回全国レディス交歓大会	H27/6/6～7	秋田県大仙市	Aグループ2位：小田ヨシエ（大田） Aグループ6位：野々内喜美子（東出雲）
第10回全国レディス交歓大会	H28/6/4～5	大分県別府市	Dグループ1位：磐脇田鶴子（松江）
第18回全国レディス交歓大会	R6/5/22～23	山梨県富士吉田市	Aグループ2位：杉原康子（出雲）
第34回全国健康福祉祭	R4/11/12～13	神奈川県茅ヶ崎市	10位：水野静二（八雲）
第35回全国健康福祉祭	R5/10/28～31	愛媛県久万高原町	男性の部5位：森脇泰治（玉湯）

注）平成21年度以降の大会成績



第27回全国交歓大会入賞者



第30回全国交歓大会開催

編集後記

コロナも5類に移行し、大会での体温確認、消毒・マスクの着用等も自己管理となり、コロナ渦での大会運営とは随分楽になりましたが、今度は猛暑の為、熱中症対策にと、大会運営も要注意と続きました。今年度は島根県協会創立35周年記念交歓大会を開催したほか、本年度事業も会員皆様の協力により計画通り実施することが出来ました。引き続き皆様方のお力添えをお願いします。

（広報事業委員長 松村基樹）